

第39回 東京新島講座

植木朝子 同志社大学学長、細井創 同志社女子大学特別任用教授を講師に迎え、第39回東京新島講座を開催いたします。ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

講師・演題



植木朝子
(同志社大学学長)
「中世の歌姫たち—白拍子を中心に—」



細井創
(同志社女子大学特別任用教授)
「チルドレン&ウィメン・ファースト
—50年後を見据えて—」

日時 2023年3月5日(日) 14時00分～16時30分 (開場13時30分)

会場 国際ファッションセンタービル 11階 Room 111

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-6-1

会場へのアクセス：都営地下鉄大江戸線 両国駅 (A1 出口) 徒歩0分、
JR 総武線 両国駅 (東口もしくは西口) 徒歩約7分

受付期間は終了しておりますが、キャンセル等発生したため先着順でお申込みを受付いたします。

参加ご希望の方は、学校法人同志社 法人事務室(075-251-3006)にご連絡いただきますようお願いいたします。平日9時から17時の受付となります。

- ❖ お申込みに際してご提供いただく個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び本法人が定める「個人情報保護の基本方針」、「同志社個人情報保護規程」等に基づき、適正に取り扱います。お預かりした個人情報は、東京新島講座のご案内に利用させていただき、法令上認められている場合を除いて、ご本人の同意なく第三者に提供いたしません。
- ❖ 新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、オンライン形式あるいは開催中止となる場合があります。

定員100名
入場無料

主催 学校法人同志社

後援 同志社校友会東京支部
同志社同窓会東京支部

お問合せ
お申込み

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601
学校法人同志社 法人事務室「東京新島講座」係
TEL : 075-251-3006
MAIL : ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp

第39回 東京新島講座 公開講演会

1. 開会
2. 挨拶
3. 講演（2部構成）

第1部

演 題 「中世の歌姫たち—白拍子を中心に—」

講 師 同志社大学学長 うえき ともこ
植木 朝子

【講師紹介】

1967年生まれ。お茶の水女子大学文教育学部国文学科卒業。同大学院修士課程人文科学研究科日本文学専攻修了、同博士課程人間文化研究科比較文化学専攻単位取得退学。お茶の水女子大学助手、十文字学園女子大学助教授などを経て、2005年同志社大学文学部国文学科助教授、2007年から同教授。

同志社大学文学部長・文学研究科長、同副学長、同教育支援機構長を務め、2020年4月から同志社大学学長。博士（人文科学）（お茶の水女子大学）。

【主要著書】

- ・『『梁塵秘抄』とその周縁—今様と和歌・説話・物語の交流—』（三省堂）2001年5月
- ・『中世小歌 愛の諸相—『宗安小歌集』を読む—』（森話社）2004年1月
- ・『梁塵秘抄の世界—中世を映す歌謡—』（角川学芸出版）2009年12月
- ・『風雅と官能の室町歌謡—五感で読む閑吟集—』（角川学芸出版）2013年1月
- ・『虫たちの日本中世史 『梁塵秘抄』からの風景』（ミネルヴァ書房）2021年3月

第2部

演 題 「チルドレン&ウィメン・ファースト—50年後を見据えて—」

講 師 同志社女子大学特別任用教授 ほそい はじめ
細井 創

【講師紹介】

1955年生まれ。京都府立医科大学卒業。医学博士（京都府立医科大学）。米国セント・ジュード小児研究病院 博士研究員・客員研究員、京都府立医科大学 教授（大学院医学研究科小児科学）、同附属病院副病院長、同がんプロフェッショナル養成センター長、同医療センター所長、同副学長、同臨床研究推進機構長等を経て、2021年4月より同志社女子大学看護学部特別任用教授。

【主要論文】

- ・ Differential expression of myogenic regulatory genes, MyoD1 and myogenin, in human rhabdomyosarcoma sublines. Int J Cancer. 50: 977-983, 1992.
- ・ Phosphorylation of the translational repressor PHAS-I by the mammalian target of rapamycin. Science. 277: 99-101, 1997.
- ・ Rapamycin causes poorly reversible inhibition of mTOR and induces p53-independent apoptosis in human rhabdomyosarcoma cells. Cancer Res. 59: 886-894, 1999.
- ・ A review of 331 rhabdomyosarcoma cases in patients treated between 1991 and 2002 in Japan. Int J Clin Oncol. 12: 137-145, 2007.
- ・ Development of non-viral, ligand-dependent, EPHB4-specific chimeric antigen receptor T cells for treatment of rhabdomyosarcoma. Mol Ther Oncolytics. 20:646-658, 2021.